みなさんと歩んだ64年
～八代市を振り返る～

昭和十五年、球磨川の恩恵を受け、工業都市を目指して誕生した八代市。みなさんに愛され続け、今年で六十四年が過ぎました。
来る八月一日、坂本村、千丁町、鏡町、東陽村、泉村との合併により新しく生まれ変わる八代市を振り返ります。

昭和15年ごろの八代市役所

八代市の誕生

八代町・太田郷町・植柳村・松高村が合併して誕生した八代市は、生活・工業用水など必要な水はすべて球磨川に頼ってきました。戦後の復興に向け、球磨川での電源開発が進み、工場誘致や港湾計画の再開など都市開発が活発化、産業都市への第一歩を踏み出します。

その反面、大雨の度に球磨川の堤防が決壊し、災害をもたらすことも多く、球磨川が、市の歴史を左右してきたと言っても過言ではありませんでした。

昭和27年当時の八代市上空

集中豪雨による山津波発生（昭和38年8月14日）

午後4時半ごろ、古麓のみかん山で山津波が発生し、7人が犠牲となりました。

また、日置川堤防決壊や日奈久河川地区氾濫による冠水など、被害は甚大でした。

歩み　昭和15～55年

S15 八代町、太田郷町、植柳村、松高村を合併。九月一日に市制施行（人口三万三千五百七十二人）
S16 水無川が大洪水。堤防決壊。
S17 大手町～出町道路完成
S18 金剛弥次地先干拓起工
S19 昭和、県営新地で高潮のため堤防決壊
S20 戦争激化により分散教育が行われる
S21 山陽航空八代工場跡に東洋繊維八代工場創立
S22 八代労働基準監督署創立
S23 八代総合病院開院
S24 八代地区ＰＴＡ連合会結成
S25 人権擁護員誕生
S26 図書館巡回文庫開始（六月）、八代母子寮落成（十二月）
S27 市教育委員会が発足
S28 八代三中落成（十月）
市営助産所開設（五月）
日置川堤防決壊（七月）
熊本労災病院本館完成。金剛干拓潮止完了。
中北町に慶芥焼却場完成（十月）
八千把村、高田村、金剛村編入（四月）
郡築村編入（七月）
野上河原に市営プール完成（八月）
市教育委員会事務局が市庁舎へ移転（八月）
宮地村、日奈久町編入（八月）
上水道通水開始（八月）
S31 昭和村編入（四月）
八代小学校落成（九月）
大洋デパート八代支店開店（十二月）
S32 二見村編入（一月）
金剛干拓完成（三月）
大島植門完成（三月）
日奈久温泉市営浴場完成。東湯と西湯（十二月）
S33 新築の日奈久本湯開館（一月）
日奈久干拓完成（四月）
萩原会館完成（十一月）
八代城址公園工事完了（十二月）
S34 市営球場完成（五月）
八代港一中体育館完成（七月）
八代港に鋼鉄船四隻定期就航（十月）
市立図書館新築落成（十月）
S35 農事センター落成（一月）
第十五回国民体育祭開催（十月）
S36 竜峯村を市に編入（三月）
S37 厚生会館落成式（七月）
S38 中学校で初めての一中にプール完成（十二月）
野上市営プール五〇ｍ完成（一月）
水無川の氾濫で二千戸床下浸水、古麓町みかん山の山津波で十四人死傷（八月）
S39 白鷺、夕葉の国道橋渡り初め（四月）
八代～天草定期船発着（五月）
熊本～日奈久全路面舗装終了（九月）
八代～福岡即時通話となる（十月）
S40 新前川橋の完工式（十二月）
赤字再建団体指定申請可決（一月）
外港一万トン岸壁完成（三月）
晩白柚を天皇陛下へ献上（四月）
八代地方で豪雨。球磨川、水無川が氾濫（六月）
再び集中豪雨。球磨川、水無川が氾濫（七月）
内港～松島間にフェリーボート就航（一月）
球磨川一級河川に指定（四月）
八代外港に初の貿易船ばない丸入港（四月）
外港一万五千トン岸壁着工（十月）
S42 新前川堰、球磨川堰完成（七月）
日奈久温泉センター完成（七月）
S43 旭中央通～出町線道路舗装完工（一月）
日奈久に新保寿寮完成（五月）
石油配分基地に六社進出・初のタンカー入港（十一月）
S44 豪雨のため金剛橋倒壊（七月）
市総合計画発表（十二月）
S45 市政モニター制度発足（一月）
太田郷小運動場にナイター施設完成（七月）
市政三十周年を記念し、市章・市の花・市の木・市民の歌が決定（九月）
S46 市母子寮閉鎖（四月）
本町商店街夜市始まる（七月）
県民体育祭、八代市で開催（十月）
S47 新市庁舎が落成（六月）
勤労青少年ホーム開設（六月）
水無川氾濫で堤防決壊（七月）
S48 外港一万五千トン岸壁完成（一月）
新金剛橋完成（二月）
内港に二千トン岸壁完成（三月）
市立養護学校開校（四月）
本町通りアーケード街完成（十一月）
高田公民館落成（十二月）
S49 中九州短期大学開校（四月）
国立八代工業高等専門学校開校（五月）
新萩原橋が完成（六月）
昭和日進町に市内初の施設園芸集中管理モデル団地（大型ハウス）完成（七月）
S50 市総合計画第二期実施計画発表（一月）
大規模農道起工式（二月）
市総合福祉センターが開館（三月）
水無川導水トンネル完成（六月）
中北清掃センター落成（八月）
S51 古麓歴史自然公園遊歩道完成（三月）
八代広域行政事務組合設立（七月）
S52 八代高等職業訓練校開校（四月）
市福祉事業団発足（四月）
八代・松橋地区広域営農団地農道の前川架橋連結（十一月）
S53 日奈久に南部市民センター完成（二月）
中国船、八代港に初入港（九月）
S54 金剛公民館完成（三月）
大規模農道の八代大橋開通（三月）
県立八代南高等学校開校（四月）
八代市営武道館落成（四月）
九州縦貫自動車道八代ICオープン（三月）
S55 市勤労福祉会館完成（三月）
日本セメント八代工場閉鎖（四月）
農村婦人の家落成（四月）
八の字橋開通（十一月）

工業都市としての繁栄

昭和30年代、周辺町村と合併や人口の増加により約10万都市となった八代市。工業立地条件に恵まれたこともあり、臨海工業地帯を重点に整備されていきます。昭和40年代には、高度経済成長期に伴い、田園工業都市を目指し産業基盤がさらに強化。昭和50年代には、福祉や環境、教育関連施設整備が急速に進みました。

◀ 写真は、昭和32年当時考えられていた八代港の予想図

混雑する八代港（昭和36年12月11日号市報掲載）

当時、300mもの岸壁には、入港船で終日混雑していたため、一刻も早い大規模港の建設が待ち望まれていました。

本町アーケード完成（昭和48年11月14日）

長さ717m、高さ6.3mの鉄筋づくりアーケードは、採光と防災の観点から開閉式の屋根を取り入れ、舗装の路面には、一丁目がザボン、二丁目はヤツシロソウ、三丁目は肥後ショウブが絵付けされていました。

●新八代市へメッセージ●

カメラを始めて60年以上が過ぎました。人の表情に魅力を感じて今までカメラに収めてきました。これまで撮ってきた写真を見返せば、当時のことが鮮明に蘇ってきます。

最近、思うことは、戦後の貧しい時代から物があふれる時代となった今、逆に人と人とのつながりは薄れてきたように感じますね。少し寂しい気がします。

まちは、人があってこそ活きるものです。今回の合併が、それぞれの地域の歴史や特色をもっと活かすまちづくりの起爆剤になればと願うばかりです。

人がいてこそ、まちが活きる

麦島 勝 さん（写真家）

昭和から平成へ　未来あるまちづくりを目指して

戦後から繁栄の一途をたどった昭和60年ごろ、高齢化社会が到来し、社会情勢は急激に変化し始めます。

市では、九州自動車道八代インター完成など、交通の要衝としての利便性はさらに向上し、県南の拠点都市としての地位を確立しながら、「地方の時代」に向け、行政改革への取り組みを進めました。

平成に入り、バブルが弾け不景気の時代へと突入し、国・地方の財政は徐々に悪化する一方で、人々の生活は心の豊かさを求めるようになり、その価値観やニーズは多様化してきました。それらに対応するための対策のひとつとして、全国で「平成の大合併」が行われるなか、八代地域でも６市町村が合併して、新しい「八代市」が誕生します。

市章（昭和45年）制定

工業都市八代を２つの歯車がかみ合い、八代市を動かす原動力となるよう八の字で躍動的な広がりと海鳥のつばさを表わします。

第1回全国花火競技大会（昭和62年10月7日）

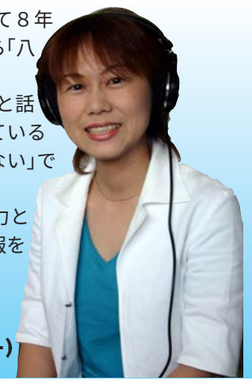
この大会は、地方で初開催となった国民文化祭の一貫として行われました。全国の花火業者22社が参加し、趣向をこらした新作花火など約6,000発が、八代の夜空を彩りました。今年10月には、18回目を迎えます。

住民情報オンラインシステム供用開始（昭和63年2月1日）

事務処理の迅速化や経費削減のために導入されました。

一方でプライバシー保護のため、個人情報の保護条例も定められました。

●新八代市へメッセージ●



地元密着型のFM局「エフエムやつしろ」も開局して８年が過ぎました。開局当時の私は、八代出身でありながら「八代って何もない」と思っていました。

ところが、番組を通じて地元で頑張っている人たちと話をするうちに、みなさんの経験や体験が八代の「活きている情報」であり、それを知れば知るほど、「八代は何もない」ではなく、「何も知らなかった」ことに気づかされました。

みなさんが持っている情報は、八代を盛り上げる底力となります。これからも地元放送局だからこそできる情報をどんどん伝えていこうと思います。

人の底力をもっと伝えたい

前田 美紀 さん（エフエムやつしろパーソナリティー）

歩み　昭和56年～平成17年

- S56 郡築公民館完成（三月）
- 農事研修センター落成（四月）
- S57 八代高等職業訓練校落成、龍峯農業研修所落成、二見小学校の田子崎と小藪分校廃校（三月）
- 働く婦人の家落成（六月）
- S58 南川橋開通（一月）
- 南地公民館完成、総合体育館落成（三月）
- 麦島小学校開校（四月）
- S59 千鳥橋完成、市営弓道場完成（三月）
- 社会福祉会館落成（四月）
- S60 八千把公民館落成（三月）
- リサイクルプラザオープン、三ツ島海上レクリエーション施設完成（四月）
- 水処理センター供用開始（五月）
- 図書館落成（六月）
- 新総合計画基本構想決定（六月）
- 市民球場供用開始（七月）
- 新八千把橋開通（十一月）
- S61 シルバー人材センター発足（一月）
- 市行政改革大綱策定（二月）
- 市民プール落成（三月）
- リサイクルプラザオープン（四月）
- 県民体育祭が市で開催（九月）
- サンライフ八代完成（十月）
- S62 松高公民館落成（三月）
- 地方初開催の第二回国民文化祭熊本に全国花火大会などで参加（十月）
- 妙見祭で木馬復活（十一月）
- 住民情報オンラインシステム運用開始（二月）
- S63 第一回県民文化祭・八代開催（十月）
- 緑と水のプロムナード完成（四月）
- H1 東部山麓自然公園開園（四月）
- ヤマハ発動機八代進出協定調印（十一月）
- H2 市制五十周年にちなみ、市鳥「かわせみ」制定（四月）
- 日奈久温泉イベント広場完成（五月）
- H3 新総合計画第二次基本計画策定（三月）
- 保健センターオープン（四月）
- 博物館未来の森ミュージアム開館（十月）
- H4 県営八代野球場完成（六月）
- 東片自然公園完成（六月）
- H5 八代外港に三万トン級岸壁完成（二月）
- 球磨川スポーツ公園芝生広場完成（三月）
- ヘルシーパル八代完成（四月）
- H6 八代港が食糧庁の麦輸入港に指定（八月）
- H7 八代広域行政事務組合庁舎落成（四月）
- 妙見上宮が建立千二百年（五月）
- 九州初の男女共同参画宣言都市となる（一月）
- H8 水島を八代市へ寄贈（二月）
- 太田郷ひびき保育園新園舎落成（三月）
- 中国北海市と友好都市締結（三月）
- 八代港線全線開通（三月）
- 資源の日（分別収集）スタート（九月）
- JR八代駅設立百周年（十二月）
- H9 八代市球技場が完成（二月）
- 妙見町東部山麓に妙見創造の森が完成（三月）
- 男子世界ハンドボール選手権大会・熊本開催（五月）

八代市民の歌「陽は昇る」

作詞　耕治人
作曲　平井　康三郎

1. 陽は昇る　八代の平野を
あまねく照らし
球磨の川面　きらきらと
深き海　その不知火を
黄金色に　染めて輝く
2. 陽は昇る　建設の槌音
空に響き
生産は月と　共にのび
豊かなる　自然の恵み
こんこんと　いでゆ湧く
3. 陽は昇る　先祖のいぶき
今に伝え
香り高き　文化の地
されど今　世界に向い
窓開く　八代港
4. 陽は昇る　いざ腕を組まん
希望に燃え
声を合わせ　みな呼ぼう
美しき　大八代の
永遠の繁栄を永遠の繁栄を

九州新幹線鹿児島ルート（新八代～鹿児島中央）、肥薩おれんじ鉄道開業（平成16年3月13日）

住民の悲願だった九州新幹線は、まず鹿児島ルートの新八代から鹿児島中央までが部分開業しました。現在は、平成23年の全線開業へ向け、急ピッチで整備が進んでいます。

同日、新幹線開業に伴い、JR鹿児島本線から経営分離された肥薩おれんじ鉄道も開業。両駅とも開業を記念するイベントが盛大に行われました。

市長職務執行者、木村征男坂本村長に決定

7月12日行われた合併協議会で、新八代市長決定までの間、市長の職務を行う市長職務執行者に、木村征男 坂本村長（写真）が選任されました。

「新八代市」開庁式

新「八代市」誕生に伴う開庁式を行います。

と　き　8月1日（月）8:30～
ところ　八代市役所本庁正面玄関
問合せ　秘書課　34-1160

くらしのインフォメーション配付中

新市の行政サービスや公共施設などを掲載したガイドブックです（広報やつしろ7月1日号配付済）。ぜひご覧ください。

問合せ　市町村合併推進室
33-4168
※合併後は合併調整担当へ

昭和24年8月に第1号を「八代市報」として発行して以来、長年にわたり、八代市の広報紙をご覧いただき、誠にありがとうございました。

新市になりましても、「広報やつしろ」の名称で、さらに充実した情報を提供していきます。今後もご愛読いただきますよう、よろしくお願いします。　企画調整課広報広聴室

年表

- コミュニティ放送局「エフエムやつしろ」開局（十月）
- H10 市ホームページ開設（二月）
- 南九州西回り自動車道八代ＪＣＴ～八代南ＩＣ開通（四月）
- H11 球磨川沿いに「せせらぎ水路」が完成（四月）
- 燃えるごみの有料指定袋制度開始（四月）
- 県内初のコンテナ国際定期航路開設（六月）
- せせらぎ水路（球磨川緑地公園）が通水（七月）
- 情報公開制度スタート（十月）
- 「くまもと未来国体」開催（十月）
- H12 全国男女共同参画宣言都市サミット開催（一月）
- 介護保険制度スタート（四月）
- やつしろハーモニーホール落成（五月）
- 金剛歩道橋開通（六月）
- H13 八代市第三次基本計画策定（四月）
- 全国高等学校総合体育大会「ひのくに新世紀総体」開催（八月）
- 南九州自動車道八代南ＩＣ～日奈久間ＩＣ開通（十月）
- 八代市・坂本村・千丁町・鏡町・竜北町・宮原町・東陽村・泉村で八代地域市町村合併検討協議会（任意協議会）発足（十二月）
- 寿屋経営破綻（十二月）
- H14 八代地域八市町村合併協議会（法廷協議会）発足（九月）
- 肥薩おれんじ鉄道設立（十月）
- 松濱軒　国の名勝に指定（十二月）
- H15 市民参加型ポータルサイト「ごろっとやつしろ」開設（四月）
- 太田郷公民館完成（六月）
- 竜北町・鏡町が八代地域市町村合併協議会を離脱表明（十月）
- 本町アーケードリニューアル（十一月）
- H16 坂田道太氏死去（一月）
- 坂田道太氏名誉市民に（二月）
- 郡築汐止め百周年（二月）
- 戸籍電算システム運用開始（三月）
- 九州新幹線鹿児島ルート（新八代～鹿児島中央、肥薩おれんじ鉄道開業（三月）
- 八代市・坂本村・千丁町・鏡町・東陽村・泉村で協議会設置（三月）
- 八代シティプロモーションセンター設立（八月）
- 二見自然の森　川の交流広場オープン（七月）
- 球磨川河口が東アジア・オーストラリア地域シギ・チドリ類重要生息地域ネットワーク参加認証（八月）
- 第十七回熊本県民文化祭in八代・水俣葦北開催（十月）
- イオン八代ショッピングセンターオープン（十一月）
- 南九州西回り自動車道日奈久岩北道路、日奈久ＩＣ～田浦ＩＣ無料開通（二月）
- 合併協定調印式開催（三月）
- 県知事へ廃置分合（合併）申請（三月）
- 新市建設計画策定（四月）
- ゆめタウン八代オープン（六月）
- 新八代市誕生（八月）
- H17

※写真はすべて八代市所管のものです。

※新しい市の市の木、市の花、市の鳥は新市になってから審議されます。なお、八代市民の歌「陽は昇る」は、愛唱歌として引き継がれます。